



令和6年11月1日発行  
第76号

ながわまち

# 議会だより

■発行／長野県小県郡長和町議会■  
■編集／広報広聴常任委員会■

令和6年度第2回

議会報告懇談会を

開催します！

■詳細はP.26をご覧ください！

## ●長和町議会 令和6年9月定例会

- ◇ 令和5年度決算認定 ○○○○○○○○ 2
- ◇ 委員会審査報告 ○○○○○○○○○○ 6
- ◇ 意見書 ■ 臨時会 ○○○○○○○○○○ 10
- ◇ 一般質問 ○○○○○○○○○○○○○○ 12
- ◇ 議会視察研修報告 ○○○○○○○○○○ 21
- ◇ 三夕一会議 ■ お知らせ ○○○○○○ 26
- ◇ 長和町「あの人を訪ねて」 ○○○○○○ 28

★「和田城跡」★

(27ページに写真の説明を掲載しています)



# こんな事業に使われました!



Sato



## 再生可能エネルギー普及推進事業

計画策定業務委託料

904万2000円

長和町地球温暖化対策実行計画区域施策編を策定。家庭や民間事業者などを含めた'30年度の温室効果ガス排出削減目標を'13年度比46%削減と設定。町の行政活動の温室効果ガス排出削減目標は50%削減とした。

令和6年度新たに町施設の太陽光発電設置可能性調査を委託。大規模災害時には多様な電源の確保が必要とされるため、二酸化炭素削減と同時に災害対策として再エネ施設設置を要望した。財源の確保が問題となる。

今は一人一台のスマホ時代。機能が多くて使い切れませんが、朝6時の目覚ましからです。手軽で手早く使えない窓口も、書類を借りて挑戦しましょう!



Hata

## デジタル田園都市国家構想交付金活用2事業完了!

1,753万6200円

書かない窓口 452万8700円  
地域アプリ「Nナビ」 1300万7500円

長和町も、役場の書類申請がタブレットやスマホを使った一般的なスタイルに。備え付けのシステムで書類を受け取ることが出来ます。Nナビは、町のお知らせや「ながわごん」の予約も取れて利用者には好評価です。



## 歴史遺産を活かした国際交流事業

長和町青少年黒耀石大使14名を派遣

1,775万円

黒耀石大使3・4期生14名のオランダイギリス渡航事業を実施。費用はクリア助成金250万円、東芝国際交流財団助成金175万円、ササカワ財団事業助成20万円、基金繰入240万円、一般財源を充当しました。



Tafuku

黒耀石大使の皆さんは自らの学習・研究成果を、現地において英語でプレゼンテーションするなど貴重な経験をもち、この自己研鑽されること、そして、将来、長和町のために生かして頂ければ、幸いです。

# 令和5年度 私たちのお金は

病院負担金には、病院施設の建設改良や医療機器整備に係る経費（ハード面）と、指定する医療に要する経費（ソフト面）の2通りがあり、ハード面の費用がかさむと負担金が増えます。

町内の親御さんの声をもとに、令和5年3月の一般質問で取り上げた内容が予算化されて形となりました。食材の価格も高騰しているため、お弁当持参でも、給食がある学校と同様の補助が受けられるのは大変ありがたいです。



Harada

## 依田窪医療福祉事務組合 (依田窪病院) 負担金

**4億3,652万4209円**

建設改良に要する経費 **2億671万8000円**  
 運営等に関する経費 **2億2980万6209円**

病院の運営等に関する経費には、救急医療の確保に要する経費5659万6千円、高度医療に要する経費4683万円、医師確保対策に要する経費などが含まれます。老人保健施設負担金は3996万3千円でした。



Watanabe

この事業で公園らしくなりましたが、地形的に使い勝手が良いとは言えません。新設された排水溝には所々土嚢が置かれ、施設への流入が防げているのか疑問。予算をしっかりと組み、施工管理も行政が行い、効果のある事業を望みます。



## 小中学校の給食費無償化 町外へ通う児童生徒には償還払い

**45万8480円**



Abe

長和町では平成30年度より町内に住所を有する児童生徒の給食費の無償化を行っています。令和5年度からは、長和町から町外の小中学校へ通う、お弁当持参の生徒への食材費の補助が新たに加わりました。



## いこいの丘公園施設整備事業 大型遊具設置工事

**3,355万円**

合併特例交付金 **1068万円**、  
合併特例事業債 **2170万円** 充当

第2期長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略による4年計画の事業。依田窪老人保健施設側に排水溝を新設。令和5年度はアンケートを踏まえて大型遊具を導入。今年度は駐車場整備、健康器具などの整備を予定する。

長和町では地方創  
生事業等でこれらの施  
策が行われています。  
長和町で働き、住んで  
いただくために、また、  
このような事業を増や  
すことで長和町に関心  
を持つ関係人口が増え  
新しい発想が生まれる  
かもしれません。



Ogino

棟が空き家であること  
公表。今後、空き家は  
増加の一途。取り壊し  
たくても費用の問題が  
押し掛かる。当町は下  
記の①③等、移住促進  
の施策はあるが、元々  
の住民には危険家屋に  
認定されなければ補助  
がない。改善は出来な  
いものだろうか。



Tatsuno

空き家対策関連事業費合計  
**4,835万5432円**  
①空き家改修費等補助金 **270万5000円**  
家具処分費 **15万7000円**  
②解体撤去補助金 **50万円**  
③体験住宅管理運営費 **147万3432円**

①空き家を購入  
または賃借して町外  
から移住した人への  
建物の改修費と不要  
家財道具の処分費用  
の補助。②危険家屋  
に認定された物件  
の撤去に対する補  
助1件。③1人暮  
らしの移住を促進  
する体験住宅の  
運営経費。

商工振興・観光振興に関連する  
地方創生事業に

**899万0438円**

商工振興事業(地方創生) **139万438円**  
観光振興事業(地方創生) **760万円**

地方創生事業と  
して実施された商工  
振興事業は新規雇用  
企業支援・販路拡大・  
企業情報発信・U-I  
Jターンの就業操業移  
住支援等。観光振  
興事業では、長和  
町コンシェルジュ  
育成・訪日外人誘  
客事業等が実施  
されました。



小川純夫 丸山淳子 羽田健一郎 高見沢高明  
監査委員 代表監査委員 町長 副町長

7月1日から30日にかけて、丸山淳子代表監査委員と小川純夫議会選出  
監査委員により、令和5年度一般会計、特別会計及び公営企業会計決算につ  
いて、審査が行われました。その結果、8月27日に「一般会計、特別会計に  
ついては、歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書及び諸  
書類、公営企業会計については、決算報告書、財務諸表、決算附属書類及  
び証書類を審査した結果、経理は収支とも適正であるものと認める」との審  
査報告書が羽田町長に提出されました。

# 令和5年度 決算

# 令和5年度 決算

**一般会計歳出決算額 58億2522万7431円**

令和5年度一般会計・特別会計決算を認定しました。

**町のお金はこんな事業に使われました**

**特別会計歳出決算額 19億7369万3164円**

## 令和5年度 長和町会計別決算額

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	60億6066万4759円	58億2522万7431円	2億3543万7328円
国民健康保険 特別会計	7億6723万6167円	7億5898万8670円	824万7497円
国民健康保険歯科診療所事業 特別会計	917万6308円	917万6308円	0円
後期高齢者医療 特別会計	9198万6730円	9133万4600円	65万2130円
介護保険 特別会計	10億9137万1589円	10億2103万9824円	7033万1765円
同和地区住宅新築資金等貸付 特別会計	692万8586円	1万2994円	691万5592円
観光施設事業 特別会計	1億1117万4367円	9195万8003円	1921万6364円
和田財産区 特別会計	1009万3259円	118万2765円	891万0494円
特別会計合計	20億8796万7006円	19億7369万3164円	1億1427万3842円
合計	81億4863万1765円	77億9892万0595円	3億4971万1170円

## 令和5年度 上水道事業会計決算額 (消費税抜)

科目	金額	内容
収益的収支	事業収益 2億5404万6423円	給水収益 1億4527万5100円, 補助金 2134万8000円
	事業費用 2億5532万0035円	減価償却費 1億6085万3258円, 支払利息等 1911万2515円
資本的収支	資本的収入 4280万7000円	補助金 4259万8000円
	資本的支出 8109万2851円	建設改良費 21万6570円, 企業債償還金 8087万6281円

## 令和5年度 公共下水道事業及び排水処理施設事業会計決算額 (消費税抜)

科目	金額	内容
収益的収支	事業収益 4億7620万7687円	下水道使用料 1億0638万4463円, 補助金 1億2645万円
	事業費用 4億2883万5676円	減価償却費 3億1591万9618円, 支払利息等 2241万9093円
資本的収支	資本的収入 1億7678万4000円	補助金 1億4858万4000円, 企業債 2820万円
	資本的支出 3億2111万9558円	建設改良費 3144万8000円, 企業債償還金 2億8967万1588円

## 令和5年度末 基金の動向 (一般会計21基金)

基金名	4年度末残高	5年度末残高	増減	会計	4年度末残高	5年度末残高	増減
財政調整基金	17億6723万円	15億3367万円	△2億3356万円	一般会計	61億9744万円	58億3514万円	△3億6230万円
新町一体感醸成基金	5億6597万円	4億6309万円	△1億0289万円	上水道事業企業債	11億7219万円	10億9132万円	△8087万円
ふるさと納税基金	6463万円	7345万円	882万円	下水道事業企業債	18億8980万円	16億2833万円	△2億6147万円
21基金合計	35億4501万円	32億3249万円	△3億1252万円	起債残高合計	92億5943万円	85億5479万円	△7億0464万円

## 令和5年度末 起債残高

# 決算特別委員会 令和5年度一般会計決算審査報告

町の会計は、5月末までで確定した収入や支出を整理した後、監査委員による決算審査があり、その意見を受けて、町長から9月議会に決算認定の議案が提出されます。

委員会での決算審査は、議会が決定した予算が適正に執行されたか、行政効果や経済効果を測定し、住民に代わり評価、承認するものです。審査の結果は、後年度の予算編成や行政執行に生かされなければなりません。

決算特別委員会は、8月30日(金)の議会開会日に議員発議により提案され、設置。議長と議会選出監査委員を除く8名の議員で構成され、渡辺副議長を委員長として、9月11日(水)12日(木)13日(金)の3日間、担当課ごとに順次審査を行いました。審査の結果、令和5年度一般会計決算は認定すべきものと決定されました。



渡辺決算特別委員長

6330万7千円

**総務課**  
**巡回バス等委託料**  
ながわごん、デマンド経費、  
役場マイクロバス運行

**問** 町内巡回バスに係る決

7億4,995万6千円

**町税収入額**  
調定額に対する徴収率は  
0.1%上がり96.4%

**問** 滞納者の相続人が財産  
放棄した場合には徴収は  
できないか。

**答** 戸籍で追える相続人が

**問** 昨年度とほぼ同程度の  
決算額となっている。利  
用料収入86万3千円、利  
用者数2万2989人。

**答** 算額の前年度比はどのく  
らいか。

2億8189万5千円

**企画財政課**  
**町債(5年度借入額)**  
残高は3億6230万円減

**問** いない状況では徴収でき  
ない。

**問** 長門いきいの丘公園整  
備事業で活用した旧合併  
特例事業債の保持率は。

**答** 旧合併特例債事業は、  
旧法に基づき合併が行わ  
れた市町村に適用できる  
もので、充当率95%、交  
付税算入率70%となる。

1441万8千円

**産業振興課**  
**有害鳥獣駆除対策事  
業** 捕獲頭数は、シカ895  
頭、イノシシ30頭

**問** 有害鳥獣が減少してい  
る感覚が無い。頭数調査  
等はしているのか。

**答** 捕獲数についてはここ  
数年間同等の数である。  
令和6年度は既に約60  
0頭が捕獲された。この  
地域の捕獲が進んでも他  
地域から入ってきてしま  
うので、県、国レベルで  
の捕獲対策が必要と認識  
している。

1108万5千円

**産業振興課**  
**獣害防止柵資材購入  
事業**(新設1・補修4)

**問** 旧和田中学校の跡地利  
用について、用途変更  
に  
関し協議中とはどうい  
う  
ことか。

**答** 現在、旧和田中学校は  
学校施設として登録され  
ており、ボルダリング等  
を行う施設として利用す  
るには用途変更が必要と  
なるため。

7533万5千円

**情報広報課**  
**ケーブルテレビ施設  
運営費**(株長和町振興公社  
への委託料1600万円)

**問** インターネットサービ  
スの最高速度はどれくら  
いか。

**答** 現在、町がご案内して  
いるのは2Mから100  
Mの速さ。今後、JAN  
ISと相談の上、より速  
い速度についても提供を  
考えていきたい。

1906万円

**スポーツによる地域  
活性化支援事業**  
スポーツコミッション支援

**問** 観光協会と連携した観  
光振興でスポーツによる  
地域活性化支援事業とあ  
るが、何に使われたのか。

**答** スポーツ庁の補助事業  
で、運動スポーツ習慣化  
促進事業と多角化支援と  
いう2事業。和田中学校  
跡地を活用してボルダリ  
ングジムをつくる事業に  
充てている。

3219万1千円

**建設水道課**

**多面的機能支払事業**  
協定農用地面積472ha、  
組織数14組織

**問** 畑地も含め、大規模農家が行う草刈りにも、多面的機能支払の交付金の補助が適用されるという認識でよいか。

**答** 大規模農家が行う草刈りに対しても、支払を行っている。大規模農家であっても、基本的には借りている農用地の草刈は行ってほしいと思う。

2億2064万円

**こども・健康推進課**  
**保育園運営経費等**

ながと保育園3929万円  
和田保育園1530万円  
保育園職員・会計年度任用職員人件費1億6605万円

**問** コロナが5類に移行したことに伴い行事を再開したとあるが、子どもと保護者の受け止め方はいかがか。

**答** 参観日、祖父母参観などがか。

1729万4千円

**健康診断等委託料**  
町民ドック(依田窪病院)委託料1250万円

**問** 町民ドックのオプション検査の申し込み方法が5年度から変更になったことで受診率が下がったが、今年度はオプション検査の受診率は改善する見込みか。

**答** 今年4月の広報で、オプション検査の申し込み方法についてお知らせした。今後も更に広報を行い、受診率向上につながる取組を行う。

11万4千円

**町民福祉課**  
**運転免許証自主返納等促進事業申請者19名**

**問** タクシー利用補助券の使用額は19000円に止まる。デマンドバス利用補助等、実際に使えるものに代えていくことを検討したらどうか。

**答** 実際に使えるものに代えることを検討する。

1991万2千円

**教育課**

**給食費無償化**

区域外を含めた小中学校児童生徒314名

**問** コストを抑えるために長門小で和田小の分も含め給食を作り、和田小へ運ぶといった案は考えられないか。

**答** 現状では設備の整備や

452万9千円

**書かない窓口システム導入委託タブレット入力**

**問** 最初は手で書いた方が早いのではないかと思っただが、現在はスムーズにできているか。

**答** 正直に言うと思う方が早いと思う面もあるが高齢者などには好評で、さらに対応を工夫し利便性を高めていく。

1775万4千円

**歴史遺産を生かした国際交流事業** 黒耀石大使14名を蘭英に派遣

**問** 国際交流事業の助成金は直接実行委員会へ入るのか、また、個人負担金はどうなっているか。

**答** 助成金は雑入として町の歳入に入る。個人負担金も町の歳入へ入れ、その後実行委員会へ負担金として入れている。国際交流基金繰入金240万円に個人負担金の14名分105万円が含まれており、残りの135万円は積み立てている基金から取り崩した。(抜粋)



黒耀石大使 英国セットフォードフェスティバルで発表!

総務経済常任委員会審査報告



佐藤恵一 委員長

総務経済常任委員会

委員長／佐藤 恵一  
副委員長／荻野 友一  
委員／原田 恵召  
小川 純夫  
渡辺 久人

総務経済常任委員会は、9月17日(火)に委員会を開催し、令和5年度特別会計決算、条例案、令和6年度補正予算などについて審査し、すべての議案が全員賛成で可決すべきものと決定されました。



長門水処理センター

**問** 令和5年度長和町観光施設事業特別会計決算の認定について

**問** 長和町別荘地マスタープラン実現のための重点目標とは何か。

**答** 重点目標は毎年掲げており、令和5年度は

令和5年度長和町上水道事業会計決算の認定について

**問** 料金改定は何年に一度行っているか。

**答** 平成29年度及び令和元年度に実施し、それ以降改定していない。国は3〜4年で料金改

大規模伐採を別荘地内で実施した。今年度は景観整備や滞納整理を目標に掲げ、取り組んでいきたい。

定することを推奨している。今後はそのような進めて行きたいと考えており、現在、審議会の資料作成を行っている。

令和5年度長和町公共下水道事業等会計決算の認定について

**問** 料金改定の見直しはどうか。

**答** 下水道事業の維持管理費用に対し、下水道使用料収入が24%程しかないため、不足分を

令和6年度長和町一般会計補正予算(第3号)について  
既定の予算総額に3209万1千円を追加し、予算総額を61億940万8千円とする

一般会計繰入金で補い黒字決算としている。今後については、上水道事業と併せて料金の値上げを検討している。

**問** 地方創生事業(アートによる長和町活性化事業)44万7千円の増  
**問** 女子美術大学との連携、テストケースの具體的スケジュールは。

**答** コーディネーターや大学関係者と協議し、今年度末までに完了するよう進める。

**答** ふるさと納税の新規開拓、SNSを活用した情報発信などをミッションに、長和町の魅力をアピールしながら寄附金額の増額を目指してもらう。

**問** 財産管理費地域おこし協力隊人件費253万5千円の増

**答** 採用予定の地域おこし協力隊2名のミッションは。

**問** 林道工事請負費の町単独事業における実施箇所の詳細は。

**答** 本沢線1号橋とその先の砂防堰堤との間、本沢川と並行している部分の改修である。本沢線は改修工事が多いので、強化等抜本的対策ができないか県などに相談していく。

**問** 観光費地域おこし協力隊人件費886万6千円の減

**答** 地域おこし協力隊の温泉部門とは、どのような業務を行うのか。

**答** 町の温泉の運営に関わることが主な業務になるが、他の温泉施設の経営方法や魅力的な集客方法を町の温泉運営に取り込むといった業務が中心となる。

(抜粋)



# 社会文教常任委員会審査報告



田福光規 委員長

## 社会文教常任委員会

委員長／田福 光規  
副委員長／阿部 由紀子  
委員／龍野 一幸  
羽田 公夫  
森田 公明

社会文教常任委員会は、9月18日(水)に委員会を開催し、令和5年度特別会計決算、条例案、令和6年度補正予算などについて審査し、すべての議案が全員賛成で可決すべきものと決定されました。

令和5年度長和町国民健康保険特別会計(事業勘定)決算の認定について

**問** 子育て世帯支援事業補助金は、国保税が県に統一されても事業実に統一されても事業実

**答** 施できるのか。県に確認し、進めていく。

令和5年度長和町後期高齢者医療特別会計決算の認定について

**問** 令和6年12月2日以降、マイナ保険証利用

する予定である。

**問** 登録者は保険税に未納があっても一部負担金のみで医療機関を受診することは可能か。

**答** 各市町村で「特別療養費」の対象者である旨を自庁システムにて登録し、医療機関でも確認が可能になる予定である。

**問** 特別な理由もなく長期間保険料を滞納している被保険者に対し、「特別療養費」の扱いになることを事前に通知

**答** 令和5年度長和町介護保険特別会計決算の認定について

令和5年度長和町介護保険特別会計決算の認定について

**問** 居宅介護住宅改修の件数と1回あたりの上限は。

**答** 上限は20万円、令和5年度の住宅改修件数は20件である。

長和町犯罪被害者等支援条例制定について

**問** 支援金の額は、他町村と比べて多いか少ないか。

**答** 既に条例施行している他の市町村とほぼ同じ金額である。

**問** 被害が起ったときの体制と窓口は。

**答** 人権男女共同参画係

**問** 令和6年度長和町一般会計補正予算(第3号)について

**情報管理費システム保守委託料855万8千円の増**

**問** コンビニ交付システムの保守委託料は毎年上がるのか。

**答** 毎年上がるのかは不明。物価等の上昇によりデータセンターの

**問** 高年齢者生活福祉センター備品購入費300万円の増

**問** 備品購入する可搬式発電機の燃料と稼働可能時間は。

**問** 再生可能エネルギー普及推進事業30万円の増

**問** 太陽光発電補助金増額は、どの時点で不足が分かったのか。

**問** 当初予算で6件60万円を計上したが、現時点で3件30万円執行して、予算残額が30万円ある。現在、6件60万円の申請が出されており、不足分の30万円を補正する。

**問** ながと保育園修繕費9万5千円の増

**問** 修繕費のはんとう棒とは何か。

**問** 園庭にある、子どもたちが登って遊ぶのぼり棒である。上部に小さな亀裂が見つかったため、安全のために修繕する。(抜粋)



はんとう棒

長和町議会 令和6年第3回定例会が、長和町役場議場に於いて、8月30日(金)から9月20日(金)までの22日間の会期で開かれ、報告14件、発委3件、令和5年度決算認定10件、条例6件、令和6年度補正予算7件、陳情3件、意見書5件、その他4件について審議を行い、すべての議案が、全員賛成で可決・認定・採択・適任とされました。

また、8人の議員が一般質問を行いました。  
審議結果は、議会ホームページに掲載します。



# 9月議会

## 意見書

長和町議会では、9月議会において、議員提出による2件の意見書と、採択した陳情をもとにした3件の意見書を、全員賛成により採択し国等に提出しました。

### 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

・提出先 内閣総理大臣・衆議院議長他6機関

国連は1979年に「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約(女性差別撤廃条約)」を採択し、日本は1985年に批准、現在189カ国が批准している。「選択議定書」は、国連女性差別撤廃委員会による個人通報制度と調査制度を認め、批准すると締約国は被害者救済に向けての具体的な措置を同委員会から要請されるため、国際的な人権基準に基づいた女性の人権侵害の救済や性別による不平等をなくす効力が強まることが期待される。選択議定書は、現在115カ国が批准しているが、日本は未だ批准に至っていない。本年10月に国連女性差別撤廃委員会による第6回目の日本報告審議が行われることを見据え、政府等に対し、女性差別撤廃条約選択議定書を速やかに批准することを強く求める。(要旨)

提出者 阿部由紀子議員

地方自治法の改正により創設された国の補充的指示制度の慎重な運用を求める意見書

・提出先 内閣総理大臣・衆議院議長他2機関

2024年6月の地方自治法の改正において、国と地方公共団体との関係等の特例規定が新設され、国民の安全に重大な影響を及ぼす事態が発生又は発生するおそれがある場合に「国の補充的な指示」として、閣議決定により大臣が普通地方公共団体に対してその事務処理について必要な指示をすることができることを定めた。この改正により、憲法で保障された地方自治の本旨や国と地方の対等な関係が損なわれることが危惧される。国の補充的な指示が、現場の実情を適切に踏まえた措置となり、安易に行使されることのないように制度運用することを強く要望する。(要旨)

提出者 田福光規議員

政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書

・提出先 内閣総理大臣・厚生労働大臣他2機関

政府は、看護師や介護職など社会基盤を支える労働者とその役割の重要性に比して賃金水準が低い状況であるとし、2024年の診療報酬・介護報酬・障害福祉報酬の改定で賃上げに特化した「評価料」や「加算」を

盛り込んだ。しかし、実際の診療報酬のベア評価料や介護報酬の新加算は、定昇並みの賃上げにしかならずケア労働者の賃金水準は全産業平均から大きく下回る事態となっている。現在の医療・介護現場では、退職者が増加し、入職者が減少している。私たちは、すべてのケア労働者の処遇改善と医療・介護事業の安定的な維持発展のために、政府の責任において公費による追加の賃上げ支援策の実行を要望する。(要旨)

### 国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書

・提出先 内閣総理大臣・財務大臣 他2機関

重くのしかかる国民健康保険税は、高齢者や自営業者だけでなく、非正規雇用の拡大に伴い所得が低い若い世代や雇用者にとっても、生活を圧迫する切実な問題となっている。そもそも、低所得者が多く、保険料に事業主負担がない国民健康保険は、相当額を国庫で負担する必要がある。健康保険とのアンバランスは極力是正すべきで、これは制度本来の理念である。公的医療保険は国民に平等に医療を保障するための仕組みであり、加入する保険により負担や給付に大きな格差があることはそもそも制度の趣旨に反する。よって、政府に対し、国民健康保険財政への国庫負担の増額することを強く求める。(要旨)

### 訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書

・提出先 内閣総理大臣・厚生労働大臣 他1機関

介護報酬の改定により、訪問介護の基本報酬が4月から引き下げられたことで、訪問介護事業所とりわけ小規模・零細事業所が経営難に陥り、在宅介護の基盤が壊滅的になる恐れがある。2023年の訪問介護事業所の倒産は67件と過去最多を更新した。政府は訪問介護の基本報酬を引き下げても、介護職員の処遇改善加算で補えるとするが、すでに加算を受けている事業所は基本報酬引き下げで減収となり、その他の加算も算定要件が厳しいものが多い。このままでは介護人材の確保はますます困難になる。よって、訪問介護報酬の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める。(要旨)

# 臨時会

7月16日(火)、令和6年長和町議会第3回臨時会が開催され、条例1件、令和6年度一般会計補正予算1件について審議し、いずれも全員賛成で可決されました。

令和6年度長和町一般会計補正予算(第2号)

既定の予算総額に5472万6千円を追加し、予算総額を6億7731万7千円とする。

■ 税務総務費 4534万2千円の増 定額減税額に満たない人に減税分を給付。

問 対象者への広報はどうするののか。

答 8月中には対象者の方の方へ通知する予定である。

問 確定申告が終わらないと金額は決まらないのでは。

答 令和5年分の確定申告に基づいて給付する。

長和町営フランシユたかやまスキー場条例の一部を改正する条例

リフトの利用料金を改定

問 昨年の売上と入り込み数はどうだったのか。

答 入込数は一昨年の96%、約5万5500人。売上は98%で、約2億4600万円である。(抜粋)

- 1, <sup>たふく こうき</sup>田福光規 議員 …………… P.13
- (1) 健康保険証、マイナ保険証、資格確認証の今後の運用について
  - (2) 上下水道事業の現状と今後の課題について
- 2, <sup>はらだ えしやう</sup>原田恵召 議員 …………… P.14
- (1) 依田窪病院等への負担金の推移は
  - (2) 振興公社でふるさと納税の窓口になれないか
  - (3) ブランシュたかやまスキー場のスノーボード対応について
  - (4) できるところから避難所に Wi-Fi 設置を
- 3, <sup>おぎの ともかず</sup>荻野友一 議員 …………… P.15
- (1) 長和町消防団について
  - (2) 「ながわごん」実証運行の経過について
- 4, <sup>わたなべ ひさと</sup>渡辺久人 議員 …………… P.16
- (1) 長和町職員の確保について
  - (2) 長和町の情報発信について
  - (3) 長和町における DX 推進について
  - (4) 「こども計画」、「こどもに関する条例」について
- 5, <sup>たつの かずゆき</sup>龍野一幸 議員 …………… P.17
- (1) 安全と事故防止について
  - (2) 空き家対策について
  - (3) 新和田トンネル無料化の今後について
- 6, <sup>あべ ゆきこ</sup>阿部由紀子 議員 …………… P.18
- (1) 熱中症警戒アラート注意勧告の情報発信
  - (2) クーリングシェルター設置の要望
  - (3) 夏の防災備蓄品に OS-1 を
- 7, <sup>は た きみお</sup>羽田公夫 議員 …………… P.19
- (1) 不動産の相続登記義務化について
  - (2) 小中学校プール活用状況と問題点について
  - (3) 部活動地域移行から発生する問題について
- 8, <sup>さとう けいち</sup>佐藤恵一 議員 …………… P.20
- (1) 農地、畦畔の景観維持、草刈り等に対する行政の取組と方針
  - (2) 次期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定について
  - (3) 関係人口の創出「にぎやかな過疎」づくりに

# 質一般問

## 8人の議員が町政を問う！

第3回定例会では、9月9日(月)10日(火)に一般質問を行い、8人の議員が町の課題について質しました。

★議員の質問時間は、答弁を含め60分以内です。「議会だより」では、誌面の都合上、質問議員が質問と答弁を要約して掲載しています。



田福 光規  
議員

健康保険証、マイナ保険証、資格確認書の今後の運用について

# 全国保加入者に資格確認証の送付を

## 現在のところ予定していない

**問** 県保険医協会の県内市町村調査で、マイナ保険証を

持たない人に交付する「資格確認証」の送付対象に関する質問に対して、「申請者に限って発行する」16、「マイナ保険証の利用登録者以外に」30、「全保険加入者」10、「その他」21の結果であった。当町の回答とその理由は。

**答** 町長 「その他」である。理由は、厚生労働省からの事務連絡に、交付対象者を「当面の間、マイナ保険証を保有していない者・その他保険者が必要と認められた者については本人の申請によらず保険者が交付する」との記載があるものの、詳細な指示がないため。

**問** 同調査の「国民健康保険加入者のマイナ保険証登録率」の結果では、「およそ把握している」58、「一部は把握できているが登録率は不明」6、「把握できていない」13である。当町の回答とその理由は。

**答** 町民福祉課長 「およそ」である。理由は、長野県国民健康保険団体連合会よりマイナ保険証利用登録者数が毎月情報提供されているため。

**問** 「マイナ保険証登録者の有効期間や電子証明書の失効時期の把握」結果では、「把握できていない」54、「わからない」11で、合計65の自治体で把握できていない状況であった。当町の回答

とその理由は。理由は、把握できていない「理由」である。理由は、把握できていない「理由」である。理由は、把握できていない「理由」である。

**問** 町民福祉課長 「把握できていない」である。理由は、町民の電子証明書情報を管理しているネットワークシステムの閲覧には権限や制限が多くあり、保険係でリスト化することができないからである。

**答** 町民福祉課長 「把握できていない」である。理由は、町民の電子証明書情報を管理しているネットワークシステムの閲覧には権限や制限が多くあり、保険係でリスト化することができないからである。

**問** マイナ保険証登録者の電子証明書には有効期限があるのか。

**答** 町民福祉課長 電子証明書の有効期限は、発行から5回目の誕生日を迎えるまでである。

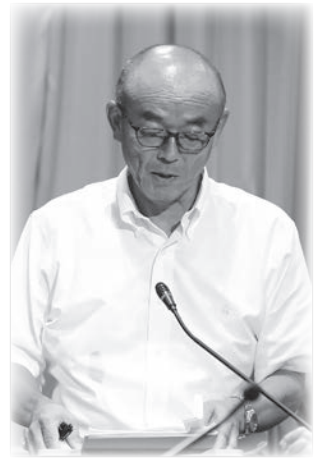
**問** 政府は、マイナ保険証を持たない人全員に「資格確認証」を申請なしで交付するとしているが、間違いなく漏れなくできるのか。

**答** 町民福祉課長 現在、マ

顔認証付カードリーダー



**答** 町民福祉課長 厚生労働省からの事務連絡では、マイナ保険証非保有者とされているため、全被保険者への交付については、現在のところ予定していない。  
(抜粋)



原田 恵召  
議員

依田窪病院等への負担金の推移は

# 依田窪病院への負担金は

# 令和5年度は4億3637万円

**問** 依田窪病院への負担金の金額とその根拠になつてゐるルールは何か。また交付税はいくらか。過疎債も利用しているのか。町村合併前からこのルールなのか。

**答** **こども・健康推進課長** 長和町の負担金は5年度は4億3637万円である。

令和5年度負担金額の増については、令和4年度に電子カルテ等の更新（事業費約4億円）を行い5年間で償還すること、及び、病院管理診療棟は建設から41年が病棟は24年が経過しており施設修繕や設備の更新が必要となつてゐることから、建設改良等に要する企業債元利償還金が増額になつたものである。

過疎債については、令和6年度より医療機器の購入及び病院施設整備事業に利用している（予算額1960万円）。

運営負担金の規定は、平成17年10月の長和町合併以前より、規約に組織町村の分担金について規定されており、分担金の割合は人口割による。平成18年3月上田市合併時の協議により、長和町及び上田市の旧武石村区域の人口割へと改正が行われている。（令和5年度長和町63・92%、上田市36・08%）

依田窪病院に係る交付税は、普通交付税が病院が所在する長和町に一括交付されておゝり、負担金割合によ

り按分した交付税額を上田市に支出している（令和5年度病院に係る交付税額2億2703万円の内8190万円）。特別交付税はそれぞれの市町に直接交付されている。

令和5年度、長和町の交付税措置額は1億6543万円、負担金額の4割程度が交付税措置となつてゐる。

**問** 今後このルールで負担金を出していくのか。いけるのか。

**答** **企画財政課長** 新町一体感醸成基金より毎年度1億円の取崩しを行っている。令和5年度末の基金残高は約4億6300万円、このまま毎年1億円を取り崩



国保 依田窪病院

していくと4年後には困難となる。このような状況になつた際、負担金が引き続き必要である場合は、財政調整基金での対応について検討が必要になる。

依田窪病院への負担金については「病院経営企画会議」があるので、この場等において協議していきたいと考えている。（抜粋）



荻野 友一  
議員

# 長和町消防団活動の現状は

## 時代に適した変化・対応が必要

**問** 消防団を取り巻く様々な課題や将来の展望について町長の考えは。

**答 町長** 地域防災においての中核として、常時、住民の安心と安全、生命財産を守り、地域の防災力の向上、コミュニティの活性化に大きな役割を担っていることに敬意を表し感謝している。団員の処遇の改善を実施し団員の増員を図り、地域防災の要としての活動に、行政としてもバックアップしていく。

**問** 消防団の災害出動時の手順、組織としての命令伝達の経路、方法は。

**答 総務課長** 消防団活動マニュアルを定め、火災出動、地震対応、水災土砂災害等

に対応している。活動においては、常備消防と協力し、団長指揮のもと各分団長以下が職務に当たっている。本部、各分団ともにIP無線を装備しており、随時情報伝達と情報の共有を図り活動している。

**問** 女性団員に対する環境の整備について、これからの具体的な施策は。

**答 総務課長** 現在、31名の女性団員が平時有事を問わず活動している。女性団員を統率する女性隊長を任命し、団員の意見を聴取して環境整備について前向きに検討し、より活動しやすくなるよう計画していきたいと考えている。

**問** 防災活動に必要な資機材

の計画的な整備について、具体的な整備計画書は作成されているのか、整備計画に関して消防団と綿密な会議は開催されているのか。

**答 総務課長** 資機材の整備については、各分団から要

望書を頂き、次年度予算に計上している。具体的な整備計画書はないが、必要であれば消防団本部と作成について協議していきたいと考えている。

**問** 消防団活動に関しては町

民の皆様の理解と信頼が必要であるが、住民、消防団、行政の協働体制を整えて災害に立ち向かえる強固な防

災体制を築くために、どのような施策を行う考えがあるのか。

**答 町長** 災害が激甚化・頻発化する中で、協働体制は不可欠で非常に重要だと考える。防災体制に係る各種会議、訓練などにおいての備え、対応の確認等が、それぞれの連携による信頼関係を構築することとなり、そのことが強固な防災体制に繋がると考えている。地区防災会議、自主防災組織は消防団と協力し、地域に密着した地域防災の担い手と考えている。  
(抜粋)



長和町消防団 ポンプ操法大会



渡辺 久人  
議員

長和町職員の確保について

## ストレスチェックは実施しているか

## 高ストレス者は121人中13人いた

トレスチエックなどメンタルヘルス対策は行っているか。

**答 総務課長** ストレスチェックは、令和2年度より民

間事業者(個人情報基盤開発)へ委託して実施している。高ストレス者は、受検者121人中13人いた。

長和町の情報発信について

### 教育課ホームページ充実を

### 充実した内容を発信できるよう努める

**答 町長** 長和町においても近年職員採用試験における受験者数の減少が続いている。その背景には、複雑化する課題、地方財政の悪化のなか行政のスリム化が求められ、限られた人員体制で業務を遂行することが求められる等がある。

**問** 療養休暇職員のうちメンタル的な職員がいるが、

2021年3月議会において教育委員会のホームページの作成を求めた。4月のリニューアルでは掲載はなかった。教育委員会のホームページを新設あるいは増設して、教育課のページを充実した内容あるものにして頂きたい。

**答 教育長** 教育委員会の会議に関する会議録の公開については、現在準備作業を

子育て・教育	
→	健全育成・青少年
→	高校・大学
→	子どもの健康
→	子育て支援情報
→	子育て施設
→	児童福祉・ひとり親福祉
→	小中学校
→	経理・子育て・教育に関する情報
→	経理・出産
→	保育所・こども園・幼稚園

子育てHPのリンク

「こども計画」「こどもに関する条例」について

### 「こどもに関する条例」の制定は手厚い子育て事業を実施中で、予定はない

**問** 長和町では、「こども計画」「こども大綱」は作成されているか。

**答 町長** 市町村こども計画には、それぞれの地域が抱える課題や、こども施策を取り巻く状況に応じた目標を設定することとされている。

**答 こども・健康推進課長**

第3期長和町子ども・子育て支援事業計画の中間見直し際に子どもの意見を取り入れ、こども計画を追加策定しようと考えている。

**問** 子どもに関する個別の条例には「虐待、いじめ、性

被害」などが、また、行政、地域住民が相互に連携しながら、子育てを応援していく「こども、子育て支援条例」などがある。長和町では子どもに関する条例を制定する考えはないか。

**答 こども・健康推進課長**

子ども・子育て支援事業計画、障がい者基本計画、健康増進計画、男女共同参画計画に基づき切れ目のない手厚い子育て支援となる事業を実施しているので、現在のところ「こども条例」の制定は予定していない。

(抜粋)





龍野 一幸  
議員

安全と事故防止について

# 火の見櫓の安全確認と今後は

## 劣化の状況を確認し順次撤去して行く

改善、コミュニティの創出等魅力的な町になるために必要である。地域おこし

協力隊は任期終了後の定住定着や起業もあり、実施可能か今後検討して行く。

新和田トンネル無料化の今後について

増えた交通量、地域に金を落とす工夫は

厳しい財政。新たな展開は検討が必要

無料化に加え、和田宿ステーションが道の駅に登録され、利用者は増えている。その一方、地方創生への貢献を掲げているコンビニエンスストアは閉店解体された。コンビニ的な展開等、少額でも地域にお金を落とすための環境整備はできないか。

は一段落した。厳しい財政状況や管理体制含め、新たな整備、展開には慎重な姿勢を取りたい。(抜粋)

問 日本固有の構造物であり地域防災の柱として活躍して来た火の見櫓。棟数と半鐘や櫓の安全確認、今後はどうか。

答 総務課長 地域の安全を見張り、危機と注意を半鐘の音で知らせ、地域を守ってきた。現在は実用上の機能は消防ホースを乾燥するためだけのものとなっております、劣化の状況に応じて、

詰所の遠い箇所から順次撤去を考えている。

問 火の見櫓はユネスコの未

来遺産運動に登録された。ライトアップなど安全が担保された櫓の有効活用は。

答 総務課長 櫓の多くは老朽化が激しい。利活用ができるか、費用対効果も含めて必要価値が見いだせるか否か、関係者に諮りながら考えたい。

空き家対策について

「空き家予備軍!?!」の把握は必要では

相続問題などが絡み、行政での確認は困難

問 空き家を増やさないためには、将来空き家になる可能性のある予備軍を把握し、その家庭に荷物の廃棄

や整理を促し、相続者にとって空き家バンク登録が容易になる環境に導いて行くことは考えられないか。

答 企画財政課長 空き家の有効活用は、地域の景観の

問 大門・長久保・古町、それぞれ

の地区に対し、空き家対策にリノベーション、

マーケティング、取り壊した建材の利活用をそれぞれ専門とする地域おこし協力隊を募集しては。

答 産業振興課長 和田宿ス

テーションは道の駅化事業の完了をもって大規模改修



道の駅 和田宿ステーション



阿部由紀子  
議員

長和町における熱中症対策について

# 熱中症の危険から命を守るために！

## 取り組みの必要性について検討したい

**問** 総務省消防庁サイトによると、今年の7月29日～8月4日における熱中症での救急搬送者は全国で1万2272名で、前年の同時期の1万1284人に比べると988人、8.8%の増加となっている。救急搬送者を年齢区分別に見ると高齢者の搬送割合が高まっている。他の町村では公式LINEで熱中症への注意勧告を促す情報が送られてくるが、長和町では熱中症予防に関する広報活動は実施されているか。

**答** **こども・健康推進課長** 7月に、ホームページやNナビで熱中症予防について情報発信を行い、8月には熱中症警戒アラートのメー

ル配信サービスの登録方法についても周知した。

**問** 「熱中症特別警戒アラート」は、環境省が気温や湿度などから算出する「暑さ指数」の予測値が、すべての観測地点で35以上となった都道府県に発表する。発表された場合は、熱中症の予防を徹底するほか、自治体は冷房が効いた施設などを「クーリングシエルター」として無料で開放すること

**答** **総務課長** どのような公共施設をクーリングシエルターとして開放できるか、関係する担当などと協議・検討したい。

**問** 他の自治体では、自宅にエアコンがない高齢者世帯などを対象に、エアコンの購入や設置費用を補助する「気候変動適応エアコン導入促進補助金」を取り入れている所がある。こうした制度を町でも取り入れることはできないか。

**答** **町民福祉課長** 町にも高齢者のみの世帯や高齢者となる障がい者の方だけで構成される世帯があるため、未設置状況の確認などをしながら検証し、他の自治体の状況や財政状況なども勘案し検討したい。

**問** 避難所ではエアコンが故障したり停電で使用できなくなる可能性があり熱中症のリスクが高まる。OSI

**答** **総務課長** OSIは、適切に使用しないと期待する効果が十分に得られないことがあり、使用に関しては医師の指示・指導を受けることを勧めることとなっている。また、避難所の備蓄品

1のような経口補水液は、熱中症予防だけでなく下痢や嘔吐を伴う感染症による脱水症状の際にも有効である。災害時には水道水が使用できなくなる可能性もあるため、非常に貴重な水分補給源となる。備蓄をお願いしたい。

として十分に普及していない主な要因は賞味期限にあり、保存水の賞味期限は5年以上が主で、当町の保存水の賞味期限は12年、OSI-1の賞味期限は通常15か月であり、備蓄の入替が費用と共に懸念され、現状では水の備蓄が最適であると判断する。  
(抜粋)



飲料水の給水スタンド



羽田 公夫  
議員

長和町の不動産登記の現状について

# 不動産の相続登記義務化が始まる

## 町民へ周知徹底を図っていききたい

**問** 相続登記の義務化について、広報4月号に案内文が載っていたが、更に町民への広報が必要と考えるかどうか。

**答** 町長 今年の4月より、

相続登記が義務化になったが、不動産を相続した時に手続きをしないと、死亡や住所・連絡先の変更により連絡が取れない事例が多くある。相続登記は、手続きが難しく、時間や費用もかかり、揃える書類も多く、不安や問題と感じている人も多いと思う。

**答** 総務課長 町の広報誌などで既に4回、相続の義務化について掲載しており、税務係の窓口でも義務化について案内をしている。

**問** 町では、相続登記がなされておらず、所有者不明の不動産は有るのか。あるとすればその面積と筆数はどうか。更に、固定資産税はどうなっているか。

**答** 総務課長 現状、所有者

不明の不動産について、面積や筆数を完全に把握できていない。固定資産税が課税される場合は、納税通知書を発送するため所有者や相続人を特定する調査を行うが、小さな土地や非課税の土地が多く、課税されていない場合が多い。

**問** 土地管理が重荷になっている方には「相続土地国庫帰属制度」という方法もあるが、この制度を利用している人はいるのか。

**答** 総務課長 所有者不明の土地の発生を防ぐ観点から考えられた制度であり、長和町でも2件の申請が出ている。しかし、国も引き取った土地を希望者に販売す

### 町内小学校のプール利用の現状について

### 水泳学習中の事故を防ぐために

### 事故を起こさない綿密な対策を取る

**問** 7月に高知市の小学生が中学校のプールにおいて授業中に溺れる死亡事故が発生した。当町では、水泳学習を実施するにあたり、どのような条件の元に実施しているのか。

**答** 教育課長 和田小は、B

とGプールを、長門小は自校プールを利用している。

**問** 和田小学校が利用している「和田B&G海洋センタープール」は、和田村当

るので、条件が厳しく手続きも大変、一筆につき20万円の費用も掛かり、断念する人も多いようだ。そのため、申請件数も増えていない状況である。

**答** 教育課長 和田小プールの老朽化により、昭和62年「B&G財団」に要望し、無償譲渡契約を結び、開設・運営している。デメリットは目的外使用の禁止、看板の提示、利用状況の報告、財団事業への協力などいくつかあるが、メリットは無償で小学校が使えるプールが確保されたことである。

(抜粋)



佐藤 恵一  
議員

農地、畦畔の景観維持、草刈り等に対する行政の取組と方針

## 町として草刈り支援策は

# 厳しさが増していると認識している

**問** 高齢化の進展、担い手不足、さらに猛暑、炎天下での農作業の危険を考慮すると、里山、農地、畦畔の草刈りが大変困難になってきている。町として農地、畦畔の維持管理を行う住民等

に対して、今後も継続して農地管理が行えるよう支援策はないか。

**答** **産業振興課長** 中山間地域等直接支払事業や多面的機能支払事業において、農業生産活動の継続のための下支えとして補助金が交付されているが、これとは別に、農地、畦畔の維持管理のために第三者に作業を依頼するとなれば、協定集落や農業者自身で管理をする場合よりもコストが伴うこ

とになり、その全てを町が負担するということは厳しいものと考えている。

**問** 町で保有している歩行型草刈り機の稼働状況は。

**答** **産業振興課長** 特に利用が夏場に集中する傾向があり、希望者の意向を調整しながら申し込みの受付をしている。

**問** 景観計画の中で、町民が特に大切にしたい景観について「里山と農地の景観」が上位にあるが、景観計画の中での位置

づけは。

**答** **町民福祉課長** 景観計画においては、一定規模以上の建築物、工作物の建築や開発行為等を行う場合に、行為着手の30日前までに届出をして、景観育成基準へ



歩行型草刈り機：スパイダーモア

の適合確認を行う制度となっていることから、農地等の保全、管理についての

具体的な施策を当計画において実施することは難しいと考える。

関係人口の創出「にぎやかな過疎」づくりについて

### 大学生との交流や関係人口の創出は

### それぞれ今後活動を計画中である

**問** 現在、活動が中断されている女子美術大学との関係構築は。

**答** **企画財政課長** 協定締結後の具体的な流れのイメージを掴みきれていないという課題の解決のために通常の活動を休止させていたただいている。下半期はこの課題をクリアするために、協定締結後の活動についてどのようなことができるかを試行するテストケースの実

施を予定である。

**問** 東京農業大学との連携はどうか考えているか。

**答** **産業振興課長** 山村再生プロジェクトは令和7年度以降も継続して実施していく方針である。来年度は、班ごとに来町して実習に取り組む方向で検討をされており、学生がより主体的・能動的に地域での活動に取り組むことができるものと考えている。  
(抜粋)

# 議会懇談会 委員会視察研修 広域組合議会 活動報告

## 長野県町村議会議員研修会

### 議員のなり手不足は住民自治の危機!



Sato

立案・行政監視の機能に大きな影響を及ぼし、議会の存在意義や二元代表制が機能不全となることが危惧される。

議員のやりがい、環境、待遇が整わず、なり手に響かない。地域における担い手の不足、女性進出の遅れ等がその原因にある。

解決の方途は、議会の取り組みと幅広い協働によって地方自治の未来を創ること。議会としてなり手不足対策・女性議員を増やす対策をとる。議会と住民の交流する機会を増やす、政策サポーター・議会モニター等を通じた議会の「応援団」の形成、なり手向け講座による候補検討者の後押し、低額な議員報酬の改善等。

議会の意思の明確化、住民との問題意識共有、広報公聴、意見交換会など議会としての取り組みを進めることが求められる。

□ 関係人口とリジェネラティブ 月刊「ソトコト」編集長 指出一正氏

近年、関係人口を増やすことが地方の人口減少や高齢化に対する解決策の一つとして注目されている。

奈良県の下北山村は、「むらコトアカデミー」という関係人口育成講座を実施している。この講座は、都市部の人々が下北山村の魅力を知り、地域との交流を深めることを目的として活動している。

富山市には、地域活性化と学生支援を目的としたシェアアパート「まちなか学生シェアハウス」がある。このプロジェクトは、富山大学と富山市民プラザが連携して実施しており、学生がまちなかで生活し、地域との交流を深めることを目指している事例などの紹介があった。

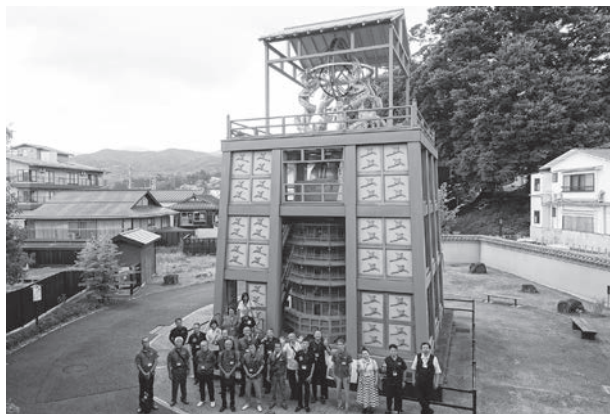
(報告…佐藤恵一議員)

7月12日(金)、松本市キッセイ文化ホールにおいて長野県町村議会議員研修会が開催され、議員9名と議会事務局が参加しました。

□ 議員のなり手不足は「住民自治の危機」その打開の道を探る 大正大学地域創生学部教授 江藤俊昭氏

多様性を欠く議会は、二元代表制の趣旨が損なわれる。立候補者減、無投票は議会の団体意思決定・政策

■ 下諏訪町・長和町議会議員研修会



天文時計「水運儀象台」の前で

# 地元の文化を誇りに思う大切さ



Tatsuno

8月7日(水)、下諏訪町において「下諏訪町・長和町議会議員研修会」が開催されました。

両町に共通する課題や問題、観光や産業などの特色を互いの目で検証、意見交換を通し議会の活性化を目的に交流が続いています。

今回は下諏訪町の産業や文化を学ぶ企画で、「時計工房儀象堂」、「星ヶ塔ミュージアム」、更に「おんばしら館よいさ」などの施設を見学しました。

「東洋のスイス」といわれた諏訪湖周辺は、精密機器とりわけ時計産業が盛んとなり、儀象堂では時計の成り立ちや発展が体験でき、900年の時を超えて4億円を投資し世界で初めて完全復元された幻の天文時計、大型天文観測時計塔「水運儀象台」は必見ものです。星ヶ塔ミュ

■ 森林・林業、林産業活性化促進議員連盟総会

# 森林資源の循環活用を目指して



Sato

ージアムでは、採掘坑のジオラマなどもあり黒耀石の交易と暮らしの様子が想像できます。おんばしら館は七年に一度開催される「御柱祭」に対する諏訪人の思いとその迫力が感じられる施設でした。

各施設において直接制作等に携わった方のガイドからは「伝えたい」という気持ちの大切さを感じました。

(報告：龍野一幸議員)

8月29日(木)、上田市サントミュージゼで、森林・林業林産業活性化促進議員連盟総会・研修会が開催され、長和町議会からは2名の議員が参加しました。

総会では、人工林資源が本格的な利用期を迎える中「森林・林業基本計画」に基づき、森林資源の適正な管理利用等を通じた森林資源の循環活用と木材の安定的かつ持続的な供給体制の構築により、カーボンニュートラルに寄与する「森林・



森林・林業、林産業活性化促進議員連盟総会

林業、林産業によるグリーン成長」の実現のための施策について、及び、令和5年度事業報告、令和6年度事業計画について報告がありました。

続いての研修では、県産材の建築物への利用について、京都大学生存圏研究所教授の五十嵐博氏の講演がありました。

平成12年以降、一定

の性能を満たすものであれば、部材の種類を問わず木材を使って高層建築物が建てられるようになった(性能規定化)が、木材調達や耐火要件への対応を要する場合があること、設計者等の木造に対する認識が浅いことから、非住宅分野・中高層の建物で木材化が進んでいない状況であること、長野県産材の建築物への利用について専門的知見に基づく現状が話されました。

(報告：佐藤恵一議員)

■(株)長和町振興公社と議会との懇談会



(株)長和町振興公社が管理する「足湯」

# 町の温泉をもっと活用しましょう!



懇談会の中では、主に温泉施設の運営状況について説明があり、今年度4月から7月までの業績の説明と8月お盆休暇時の業績について数字が示されました。コロナ禍を過ぎ、温泉利用者数はそれ以前の状況に戻りつつあり、昨年の利料の値上げとの相乗効果もあ

9月10日(火)、活性化施設「蔵」において、(株)長和町振興公社と長和町議会との懇談会が開催されました。(株)長和町振興公社では、(株)マウント長和へのブランドシユタかやまスキー場などの経営移譲以降、町の温泉施設「やすらぎの湯」と「ふれあいの湯」の他、長和町ケーブルテレビ「黒耀の里ゆいねつと」を運営しています。

■上田地域広域連合議会管内視察

# サントミュージゼ、開館から10年!



Watanabe

7月25日(木)、上田市サントミュージゼの視察、及び、常任委員会合同協議会が開催され、長和町議会からは森田議長と渡辺副議長が参加しました。サントミュージゼ(上田市交流文化芸術センター・上田市立美術館)は、上田市が2014年に開館し、今年で10年となりました。令和4年度、上田市交流文化芸術センターでは51事業を行い、大・小ホール、スタジオなどの施設利用者は13万6495人でした。

って温泉の売上金額は回復してきています。しかし、最近の燃料や資材の高騰もあり、まだまだ経営の健全化を図らないと厳しい状況が続くと、予想されています。また、町民の利用者数が増え、温泉の福祉目的の利用者を増やす施策も必要であると考えました。(報告:荻野友一議員)



上田市に「ゴジラ」が出現!

また、上田市立美術館の展覧会・教育普及事業などでの観覧者12万4390人、施設利用は293回・利用者2万7396人となっています。今回の視察では、大ホールの舞台・舞台袖・大迫りで奈落を見学し、説明を受けました。美術館では、「特撮のDNA in 信州上田」と題して、1954年から始まった「ゴジラ」の特撮に使われたミニチュア・デザイン画など200点を超える資料展示がありました。協議会では、上田圏内の医療従事者不足など医療体制の現状、病院群輪番制を含めた救急受入が厳しくなっている、等の報告があり、二次救急医療体制の早急な見直しが急務で、財源が確保されている3年間の計画としたいとの説明がありました。(報告:渡辺久人議員)

■ 上田地域広域連合議会行政視察



JAXA相模原キャンパスを視察

# 東京湾での埋立はあと50年!



Watanabe

7月10日(水)～11日(水)  
上田地域広域連合が目指す資源循環型施設の先進地として町田市バイオクリンセンターと東京都廃棄物埋立処分場を、上田創造館の事業に関連して宇宙航空研究開発機構JAXAなどを行政視察しました。

■視察1 宇宙航空研究開発機構JAXA宇宙科学研究所相模原キャンパス

相模原キャンパスには、研究・管理棟、ロケット・人工衛星搭載機器の視察施設、基礎開発／試験を行う環境試験棟、先端宇宙科学実験棟などが設置されており、視察施設にはあの「はやぶさ」の実物の大の模型、ロケットや人工衛星などが展示されている。将来、上田地域の子どもたちから宇宙科学に興味を抱き、研究者等が輩出されればうれしく思います。

■視察2 町田市バイオエネルギーセンター

施設は、258t/日の能力を持つストーカ式焼却炉、東日本初のバイオガス化施設、不燃・粗大ゴミ処理施設を持ち、上田広域計画の2倍以上の規模となっています。



広域連合議会視察 町田市バイオエネルギーセンター

開設後2度の火災に見舞われて、バイオガス化施設は稼働できていない。その原因は、燃やすごみに発火原因となるスプレー缶・ガスライター、特にリチウムイオン電池が混入し爆発的に発火して火災となったも

の。適正な分別の必要性を強く感じました。

■視察3 五島美術館

東急グループの礎を築いた、青木村出身の五島慶太が立ち上げた美術館で、鉄道事業の傍ら蒐集した、古写経をはじめとする貴重な美術品の数々が収蔵されています。視察時は「夏」と「涼」をテーマに絵画、書跡、陶芸、古鏡の優品約50点を選び展示が行われていました。東急グループ創始者の財の深さが感じ取れました。

■視察4 東京都環境局廃棄物埋立管理事務所

東京都環境局管理の廃棄物埋立処分場は、東京23区から発生したごみの最終処分場で、東京23区における最後の処分場です。

中央防波堤外側埋立処分場(199ha…埋立中)内をバスに乗車したまま見学。埋め立て地内からの浸出水の処分、大規模な処理場を設置して浄化を行ってお



東京都環境局 廃棄物埋立処分場

り、また、ガス抜きのためパイプが所々に露出していました。埋め立て地の最端から眺める、東京湾越しの千葉、横浜方向の景色は壮大でした。

埋立処分量は年々減少しています。処分場の残余年数はおおよそ50年程とのこと。改めて、ごみを減らし(リデュース)、繰り返し使い(リユース)、再資源化(リサイクル)の3Rを心がけた生活及び事業活動の一層の推進が必要と実感しました。

(報告: 渡辺久人議員)



## 依田窪医療福祉事務組合議会



Tafuku

9月12日(木)、依田窪医療福祉事務組合議会令和6年第2回定例会が開催され、令和5年度決算等について審議を行い、すべての議案が全員賛成で可決されました。

令和5年度依田窪病院事業会計決算について 収益的収支は、事業収益が33億285万円、事業費用が34億1719万円で、差し引き1億1434万円の経常損失となり、これに固定資産の除却などの特別損失を加えて、1億163

6万円の純損失を計上(表1)。前年度決算と比較し、4億4602万円余の減額となった。その主な要因は、医業外収益の新型コロナウイルス感染症患者の病床確保に伴う国からの補助金が大幅に減額となったこと。

依田窪介護老人保健施設について 議会の最後に、依田窪老人保健施設の今後の在り方(方向性)について、「経営改善を図りながら、介護需要がピークを迎える2030年までは現体制での運営を継続する」との報告がありました。

(報告: 田福光規議員)

表1 令和5年度 病院事業会計決算概要

◆ 患者数の状況 (単位:人)

区分	令和5年度	対前年増減
外来患者数	53,824	△681
入院患者数	32,810	332
和田診療所患者数	1,403	△75
1日外来患者数	221.5	△2.8
1日入院患者数	87.9	0.7

◆ 収益的収支 (単位:千円)

区分	令和5年度	対前年増減
事業収益	3,302,851	△342,208
医業収益	2,538,864	33,701
医業外収益	741,126	△374,672
和田診療所収益	22,862	△1,238
事業費用	3,417,196	132,869
医業費用	3,212,717	135,670
医業外費用	181,618	△1,563
和田診療所費用	22,862	△1,238
経常損益	△114,345	△475,078
特別損失	2,017	△29,054
純損益	△116,362	△446,024

## 上田市長和町中学校組合議会



Abe

9月12日(木)、中学校組合議会令和6年9月定例会が開催され、令和5年度一般会計決算の認定、令和6年度一般会計補正予算について審議を行い、すべての議案が全員賛成で可決されました。

令和5年度一般会計決算の認定について 歳入1億1626万円、歳出1億1348万1千円、差引残額277万9千円。組合負担金は1億92万2千円で、市町の負担割合は、長和町64・4%、上田35・6%である。(表2)

令和6年度一般会計補正予算について 歳入歳出に77万9千円を追加し、予算総額を1億2177万9千円とする。歳入増の主な理由は、栄養士の時間外手当の他、調理室のアレルギ対応食器、清掃道具入れのロッカーなど。また、緑川校長先生から、本年6月に実施された「スマホやPC、ゲーム機とのより良いかわり方に向けたアンケート」の結果が報告されました。(報告: 阿部由紀子議員)

表2 令和5年度 上田市長和町中学校組合一般会計の主な歳出決算額 (単位:千円)

款	項	令和5年度	令和4年度	前年比	摘要
議会費		191	200	△9	
総務費	総務管理費	1,600	583	1,016	公会計システム関連費 583
	監査委員費	47	47	0	
教育費	教育総務費	9,335	9,437	△101	
	中学校費	87,643	94,100	△6,457	光熱水費 9,515 備品購入費 2,976
公債費		14,664	14,119	545	
予備費		0	0	0	
歳出決算額		113,481	118,486	△5,005	

■ 議会モニター会議

# 町政の課題が 町民に伝わる 議会運営を

9月議会のモニターアンケートをもとに、10月9日（水）に、第2期第4回議会モニター会議を開催して意見を伺いました。

- **モニターアンケートから**
- (1) **本会議** テレビ中継が町長の提案理由説明の後に打ち切られていたが、その後も続けて放映されるようになったことは一歩前進、評価できる。
- (2) **一般質問** 現在ある町の条例の不備や改善点を見極

め、議会から条例改正案の提出とならないのか。／金額などの数値が次々に出てくる場面では数値を画面に映す、グラフ化して示すなど、町民が見て分かるようにできないか。／傍聴人もタブレットを配布してほしい。／答弁が長いと聞いていても分かりにくいので簡潔にお願いしたい。

(3) **委員会** いつどの委員会で何を審査する予定か示されていない。／質問や要望した事件は諦めないで継続して追いかけてほしい。／議会での討論を聞いた事がない。質疑とどう違うのか。

(4) **要望等** 町民が議会を傍聴に来ることで議員にも職員にも刺激になるという好循環が生まれるとよい。／議会でもNナビを使い、議会の開催や決定を迅速に告知するなど活用しては。

■ 頂いたご意見は一つ一つ検討して、真摯に対応していきます。  
(抜粋・要約)

## 令和6年度 第2回

# 議会報告懇談会

- 今回の懇談会では、「令和5年度決算認定、議会議員報酬、デマンド交通」等について、町民の皆様と意見交換できればと考えています。
- 基本的に4会場とも同じ内容で開催します。予約は不要です。ご都合のよい会場へお気軽にお出かけ下さい。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

開催回	日時	会場	対象
第1日	11月18日(月) 午後7時～8時30分	大門基幹集落センター (大門支所)	全町民
第2日	11月19日(火) 午後7時～8時30分	長門町民センター (長久保)	全町民
第3日	11月20日(水) 午前10時～11時30分	和田コミュニティセンター	全町民
	11月20日(水) 午後7時～8時30分	古町コミュニティセンター	全町民

- 資料として、「議会だより第76号」と「広報ながわ11月号」を使います。配布されてお手元にある方は、ご持参下さい。

# 受章

元長和町議会議員

羽田昇治さんが

旭日単光章を受章



羽田昇治さんと奥様の昌子さん  
(前列中央)

## 森田議長の「議会概説」(15)

●今号からは次期に向け、現在の地方議会の課題と長和町議会の取り組みについて、概説します。

●「議員のなり手不足が深刻化している…。」

【問】 令和5年4月までの4年間、全国926町村の議会議員選挙において、254町村が無投票、299町村が定数+1で、約60%の町村がなり手不足に直面しつつあります。議会構成は男性が86.7%（長和町は90%）、年齢別では60歳以上80歳未満が71.7%を占め、住民構成と比べ多様性を欠き、住民自治の危機が迫るとも言われます。

長和町議会では、「議会だよりモニター」「議会モニター」を設置して

羽田昇治さんは、平成9年3月和町議会議員に当選。合併後も長和町議会議員として活動され、平成21年11月まで通算4期12年8か月の永きに亘り地方自治の発展に尽力されました。在任中は、若者の定住促進のため賃貸住宅の建設を促進、労働力不足や木材の外材依存等による林業の危機的な問題を取り上げ、森林資源の保全育成と林業の振興を訴え、有害鳥獣対策にも尽力、子どもたちの森林学習などにも貢献されました。

## ★表紙写真の説明★

### ■「和田城跡」

和田城跡は、和天下町にある信定寺の裏山、上の山或いは古峯山の細尾根に残る連郭式の山城跡です。野々入に向かう釈迦堂橋から急坂を登り、石尊神社脇を抜けて堀切を渡ってゆくと標識が見えます。



和田郷 和郷 所領と し、和 田地域 発展に尽くした和田大井氏の居城でしたが、武田信玄の東・北信濃侵攻に抗し落城しました。城域は現在も郭群や堀切等が良好に残されています。

●次は多様な人材参画を考えます。

Morita



■マチイロアプリを入れると、スマホやタブレットでながわまち議会だよりを見ることができ

マチイロ  
マチを好きになるアプリ



# 長和町 あの人を訪ねて

— 第22回 —



ふるはた ひろたか  
古畑 裕隆 さん  
(古町 沖区)

## 略歴・活動

1989年長和町長久保生まれ。自動車整備士資格を取得。販売店に勤務後、父親の経営する保険代理店を引継ぎ、合わせて2023年5月より福祉車両の改造を行う「こどもの福祉車両フルサポ」をスタートした。

広報広聴常任委員会が町民の皆様を訪ねて、意見や活動をお聞きします。

**問** どうして福祉車両の会社を始めたのですか？

**答** 長男が出生時に低酸素状態になり、重度の脳性まひになってしまいました。自力で飲み込む力が弱いので、痰の吸引や人工呼吸器を付け日常的に医療行為が必要で、そのような子どもを医療的ケア児といいます。

長和町から最寄りの医療機関に行く際など医療機器を持って受診するのが容易ではなく、自動車の整備をしていた経験を生かし、少しでも自動車での移動が楽になるようにしたいと、自

分の車に息子を乗せるために試行錯誤したのが事業を始めるきっかけになりました。

**問** どのような事業をしていますか？

**答** 大きく分けて父親から引き継いだ損害保険の代理店と福祉車両の事業をしています。福祉車両の仕事は主に内装の改造を行っています。日本車の福祉車両は大人の車椅子が乗るように設計されている事が多く、子供の小さな車椅子などシートベルトの位置が合わなかったり、車椅子を固定するフックの長さ

が足りなかったりします。子供の福祉車両に特化する日本で唯一の企業となり、ありがたいことに各方面から注目されています。

**問** 長和町の企業としてどのような取組みを？

**答** 9月22日に弊社敷地内で栽培している枝豆畑で車椅子の子供達でも参加できる収穫祭を企画しました。子供たちは自分で収穫した

枝豆を食べて『おいしい』と、楽しさと美味しさを皆で共有することができ、県内外から約50名の参加者が来場されました。

**問** 長和町を盛り上げるためにはどうすればいいですか？

**答** 長和町を盛り上げようとしている若い世代は沢山います。1人1人考え方やコンセプトがあり特色があります。私はどれも素敵なことだと思います。現代はSNSなどで発信すると個人でかなりの影響力を持つことができる時代です。個々の魅力や色を大切に磨き、それが重なって長和町を形成していく時代になると思います。

## 長和町議会議員から 町民の皆様へ

議会から町民の皆様へのお知らせや議員の思いなどを掲載します。第76号は、佐藤恵一議員です。



「にぎやかな過疎をつくる」(小田切徳美著)では、今求められる地域づくりは「人口が減っても、外から来た人と元から居る人が一緒になってわいわいガヤガヤにぎやかな地域をつくること」だという。人口減少は進むが、地域にいつも新しい動きがあり、人が人を呼び、しごとがしごとを創る状況を表す。▼外に開かれた地域づくりに取り組み地域住民、地域で自ら「しごと」を創ろうとする移住者、何か地域に関われないか動く関係人口などが交錯するのが「にぎやかな過疎」です。▼人口減少傾向ではあるが、わいわいガヤガヤしている「活気のある町ですね」といわれる地域づくりには何が必要か考え、日々奔走しています。

## ながわまち 議会だより 広報広聴常任委員会

- 委員長 羽田 公夫
- 委員 龍野 一幸
- 佐藤 恵一
- 田福 光規
- 渡辺 久人
- 編集 森田 公明

■ 町政や議会、「議会だより」に関するご意見やご感想をお寄せ下さい。

■ 長和町議会事務局 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町 4247-1

電話：0268-75-2059 / FAX：0268-68-4139 / メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp